



# 関中学校だより

学校評価特別号 令和7年2月5日

ホームページアドレス <http://www.nerima-ky.ed.jp/seki-j/>

## 令和6年度 より良い学校づくりアンケート 保護者・生徒・教職員の平均値の比較

実施日 令和6年12月

対象者 保護者(123人 回答率 25.4%) 生徒(394人 回答率81.2%) 教職員 (19人)

点数振分 そう思う 4点、 ややそう思う 3点、あまりそう思わない 2点、そう思わない 1点

設問	評価項目	平均値		
		保護者	生徒	教職員
設問1	関中に通ってよかった。	3.4	3.6	
設問3	関中の教育方針や重点目標を知っている。	3.1	3.2	
	関中は、教育方針や重点目標を家庭に伝えている。			3.3
設問4	生徒は、誰にでも挨拶ができるように心掛けることができている。	3.3	3.6	
	教職員は、自らが見本となって生徒に挨拶の大切さを伝えている。			3.3
設問5	生徒は、適切な言葉を使うよう意識することができている。	3.1	3.4	
	教職員は、自らが見本となって生徒に言葉を大切に使うよう指導している。			3.2
設問6	生徒は、公正な判断や行動をしようと心掛けることができている。	3.3	3.6	
	教職員は、自らが見本となって、公正な態度を生徒に示している。			3.2
設問7	生徒は、心身ともに健康的な生活を送ることができている。	3.3	3.3	
	教職員は、心と身体の健康の大切さを生徒に伝えている。			3.4
設問8	生徒は、安心して学校生活を送ることができている。	3.3	3.6	
	関中は、個々の生徒が安心してすごすことができるよう、生徒の居場所を提供している。			3.2
設問9	教員は、学校で起こった諸問題について迅速に適切に対応している。	3.2	3.5	3.5
設問10	生徒は、中学校に入って明るく前向きになることができている。	2.9	3.3	3.1
設問11	あなたは、ひとり一人の違いを知り、いじめや仲間はずれをしない。		3.8	
	関中は、いじめ防止について適切な指導を行っている。	3.2		3.6
設問12	教員は、学校の様子や学習状況などを保護者に伝え、子どもの学力等を適切に評価している。	3.2	3.7	3.5
設問13	あなたは、先生方、カウンセラー、心の相談員等にいつでも気軽に話しかけ相談できる。		3.2	
	関中は、生徒や保護者がいつでも相談できるようになっている。	3.2		3.6
設問14	関中は、学習方法や評価の出し方について、いつでも質問し説明してもらえる。	3.0	3.6	
	関中は、学習方法や評価の出し方について、いつでも説明ができる。			3.7
設問15	関中は、授業でタブレットなどのICT機器を活用している。	2.9	3.5	3.0
設問16	教員は、授業を分かりやすく工夫し教えている。		3.6	3.2
	生徒は、授業の内容が良く分かっているように見受けられる。	2.8		
設問17	関中は、関町北小、石神井台小とともに小中一貫教育を進めている。	3.2	2.9	3.1
設問18	関中は、ホームページや授業公開など学校の様子を周知するために努力している。	3.2	3.5	3.4
設問19	保護者は、授業公開・学校行事・保護者会等には、積極的に参加しようと考えている。	3.2		3.2
	家庭では、授業公開・学校行事・保護者会等に積極的に参加しようと言われている。		3.1	
設問20	関中学校の教育活動に、保護者として支援・協力をしている。	2.9		
	関中学校の話を保護者と良くしている。		3.2	
	保護者皆様より、関中学校の教育活動に支援・協力を頂いている。			3.2

今回のアンケートへのご協力をありがとうございました。ここですべてのご意見にご返答することはできませんが、分析と方策等をお伝えします。

\* アンケート全体を通しての分析

昨年度に引き続き、今年度も『「関中に通って良かった」が100%になる』を目標に教職員一丸となって頑張っておりまいた。アンケートの結果で、『そう思う』または『どちらかといえばそう思う』の回答が合わせて、保護者で91.0%、生徒が94.2%でした。この結果は、昨年度に比べ、保護者が3%、生徒が9%数値が上がっております。今後も引き続き『「関中に通って良かった」が100%』となるような教育活動に努めてまいります。

また、このアンケートの改善点として、回答率を向上させる取り組みを次年度以降に検討する必要があると考えております。

\* 学校生活に関して(設問4・5・6・7・8・9・11・13)

全体を通して、生徒の数値が高く、充実した学校生活を送っている様子がうかがえます。今後も、生徒が安心して学校生活を送れるよう、教育目標(自分の命を大切にすたくましい人を育成する ○ 挨拶をする人であれ ○ 言葉を大切にすたくましい人であれ ○ 公正な人であれ ○ 健康な人であれ)を基軸として、教職員やカウンセラー・心の相談員等に相談できる雰囲気づくりやいじめ防止について適切な指導に努めていきます。

校内で起こる様々な問題に対して、可能な限り迅速に対応しています。その際、学校の経営方針でもある、教師による決めつけを行わず、一人一人の生徒を大切に、生徒が成長するような生活指導を行っています。引き続き、チャレンジすることのできる学校を目指し、教職員一丸となって失敗を恐れない雰囲気づくりに努めていきます。

\* 学習指導・道徳・進路・特別活動等に関して(設問12・14・15・16)

これまでと同様に、教員が分かり易い授業を展開するよう研修・研鑽に努めていきます。また、今後も継続して、道徳の時間も大切に、指導に力を入れていきます。

授業内におけるタブレットの活用頻度は、教科における指導方法や指導内容によって異なってきますが、これまで以上の活用に向けて、より良い方法を検討していきます。

合理的配慮の一例として、黒板の書き写しが苦手な生徒には、タブレットのカメラ機能を活用出来るようになっています。その他ございましたら、教科担当に遠慮せずに申し出てください。

地域の方や外部の方を講師としてお招きして行うキャリア教育の実施を今年度も実施いたしました。行事を通して、協力して行事を行う楽しさを学んだり達成感を味わい、仲間と共有し、生徒の個と集団における考え方や行動の仕方など様々な成長の様子が見られています。

【その他】自由意見より

\* 部活動に関して

・教員の異動に伴い、部活動を維持することがなかなか難しい状況です。現在いる教員で、充実した部活動ができるように努めていきます。

・部活動外部指導員の言動については、引き続き注意を払うようにしてまいります。また、外部指導員に指導を任せっきりにする事なく、顧問も指導していくようにします。

\* 成績についての問い合わせに関して

・学期末に成績相談日を設けておりますが、不明な点があれば、いつでもご相談ください。

\* 不登校対応に関して

・平日放課後に地域未来塾を開設して、学校への登校を支援しております。この地域未来塾から学校へ復帰できた生徒もおりますので、ご活用ください。

「何かございましたら、いつでも学校にご連絡またはご来校ください。」